

○井関 文一

○学位 博士(工学)

○教育研究業績

事項		年月	概要
教育上の能力に関する事項	教育方法の実践例	Maharaによるe-ポートフォリオシステムの構築と運用(*)	H27.4～現在 学習効果を上げるために、e-ポートフォリオシステムを構築し、現在試験的に運用中である。27何度中に効果が認められれば、来年度も引き続き運用を行いたい。
		Moodleによるe-Learningシステムの構築と運用(*)	H18.9～現在 平成18年度後期より、Moodleによるe-Learningシステムを構築し、担当授業で利用している。学生の学習効率の向上に大きく寄与した。
職務上の実績に関する事項	資格, 免許	Linux Professional Institute Level 3 Core(*)	H24.9 特定のディストリビューションに依存しない業界標準のLinux技術に関する資格(レベル3)。学内でのLinux教育および資格取得教育の充実のために取得。
		情報処理技術者 テクニカルエンジニア(情報セキュリティ) 第SV-2007-04-00770号	H19.6 情報処理技術者試験センターの実施する情報セキュリティの技術に関する国家資格。学内での情報セキュリティ教育および資格取得教育の充実のために取得。
		情報処理技術者 情報セキュリティアドミニストレータ 第SS-2001-10-00988号	H14.1 情報処理技術者試験センターの実施する情報セキュリティに関する国家資格。学内での情報セキュリティ教育および資格取得教育の充実のために取得。
		情報処理技術者 ネットワークスペシャリスト 第D3201001号	H13.1 情報処理技術者試験センターの実施するネットワークの運用と管理に関する国家資格。学内でのネットワーク教育および資格取得教育の充実のために取得。
	その他	情報大PKI認証局の設置, 運営(*)	H17.4～現在 アカデミック・インターネットワーク専門委員会と協力して、情報大でのPKI認証局の設置, 運営を行っている。これにより学内でWWWのHTTPS通信を行う場合などに、証明書を発行し、教育研究活動をサポートしている。
		NetTech指導員(*)	H17.4～現在 学内での学生によるネットワークサポート要員の集団であるNetTechを組織し、指導している。学内ネットワークの設定・運用, 教員サポートなどに対して有効的に機能している。
		7号館ネットワーク, ドメイン管理者(*)	H17～現在 7号館のネットワーク全体の管理維持業務を行い、7号館での各教員のネットワークを利用した教育研究活動をサポートしている。

○著書・研究論文

著書、学術論文等の名称	発行又は発表の年月	年度	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
著書	情報通信ネットワーク	共著	H27.10 オーム社	ネットワーク学習者のためのテキスト。本人担当部分 第5章データリンク層とLAN pp.119-144
	情報ネットワーク概論	共著	H26.9 コロナ社	ネットワークとセキュリティの初学者のための学習書。本人担当部分 第4章3節 pp.124-156

著書、学術論文等の名称		発行又は発表の年月	年度	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
学術論文	OpenSimulator and Unity as a Shared Development Environment	共著	H29	東京情報大学研究論集 Vol.21 No.1 pp.81-87 (2017)	OpenSimulatorのアーカイブデータであるOARファイルをUnityに読み込ませるための変換システムの開発を行った。これにより、OpenSimulatorとUnityを一組の共有開発環境とし見なすことが可能となり、低コストでの3次元空間の可視化データの作成がより容易になった。井関文一、Austin Tate、水牧大地、鈴木頌平、共同発表につき本人担当部分抽出不可能。
	教育的利用を目的とした3次元仮想空間におけるCGアニメーションリアルタイム表示システムの開発と評価	共著	H28	日本教育情報学会誌「教育情報研究」第31巻 第3号 2015, pp.3-12	教育的利用を目的とした3次元仮想空間におけるCGアニメーションリアルタイム表示システムの開発を行い、その評価を行った。結果として、遠隔地教育などでは有用に使用できることを示した。松下孝太郎、安岡宏、井関文一。共同発表につき本人担当部分抽出不可能。
	Moodle用出席管理システムの開発と評価(事例報告)	共著	H27.10	日本e-Learning学会論文誌, No.15, pp.52-62, July., 2015.	以前から開発を行っていたMoodle上の自動出欠プラグインについて今回大幅な機能拡張を行ったので、その機能と評価についての発表を行った。また合わせて、今回新たに開発したホームルームプラグインについても紹介を行った。松下孝太郎、安岡宏、井関文一。共同発表につき本人担当部分抽出不可能。
その他	共有開発環境としてのOpenSimulatorとUnityに関する研究	共著	H28	日本バーチャルリアリティ学会、サイバースペースと仮想都市研究会、CSV2016-1(2016.2.29), pp.1-6	OpenSimulatorのデータをUnityに読み込ませるためのツールの開発を行った。これにより、OpenSimulatorとUnityを一組の仮想空間用の共有開発環境と見なせることを示した。井関文一、水巻大地、鈴木頌平、共同発表につき本人担当部分抽出不可能。
	Moodle用出欠管理システムの作成とその評価	共著	H27.10	日本e-Learning学会 第17回学術講演会。論文集CD-ROM, 産業技術大学院大学, 平成27年2月27,28日。論文奨励賞受賞。	以前から開発を行っていたMoodle上の自動出欠プラグインについて今回大幅な機能拡張を行ったので、その機能と評価についての発表を行った。また合わせて、今回新たに開発したホームルームプラグインについても紹介を行った。松下孝太郎、安岡宏、井関文一。共同発表につき本人担当部分抽出不可能。